

中田かわら版 12 月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

「村岡川をきれいに」

中田クリーンアッププロジェクト始動

中田の川と森を守ろうと活動する「中田クリーンアッププロジェクト」（猪俣武雄リーダー）の第 4 回定例会が 10 月 1 日、中田町会館で開かれた。議題は①村岡川（宇田川）の小・中学生の環境キャンペーンポスター募集の件②村岡川の現状調査の実施③中田の森林愛護会との連携について。「村岡川をきれいにしよう」のキャンペーン募集では地元の小・中学校生徒から約 70 点の素晴らしいポスターが寄せられた。子どもから見た村岡川の関心の高さが分かった。



御霊神社を水源とする「村岡川」は中田の北部から東南部に続く地域の分水嶺になっているが、五筋ある川の流れの現状を確認、水質調査も進めていく。

森林愛護の取り組みは、宮の台町内会の「市民の森愛護会」が平成 24 年からボランティアが中心に実績ある活動を行っており、こうした活動の輪が広がっていくよう目指していく。

中田と「地球温暖化問題」

「地球温暖化」が問題になったころ中田連合自治会がこの問題に取り組んだのは平成 20 年（2008 年）。「この美しい地球を子どもたちに残そう！」をスローガンに啓蒙活動を始める。令和 3 年には中田連合自治会と中田地区経営委員会の共催で「子供と地球を守ろうプロジェクト中田」を立ち上げ各種イベントを行ってきた。さらに「美しい地球を守り住みよい地球を次代の子どもたちに残そう」と地域全体に呼びかけたのも、このころであった。この地球の温暖化抑止に真剣に取り組む必要があるのは現在の大人の責任と義務である。住民力のパワーで活動が発展できたらいいと思う。

ところで村岡川（宇田川）の本格的調査は平成 14 年（2002 年）、「泉区歴史の会」や「なかだ村岡川愛護会」が宇田川から村岡川の改名願を県に提出し神奈川県の名改回答以後、あまり手を付けていないのが現状だった。ことし 10 月下旬に 1 回目の現状調査を行った。その結果は現在まとめつつある。なお、行政的には現行の宇田川を本来の村岡川に戻し、名実ともに地元民から愛される川名になってほしい。それには中田地区経営委員会であり、中田クリーンアッププロジェクトが相応しいと思う。当面の課題として取り組み、中田の将来のためにもぜひ実現させてほしい。今が一番の機会であると思う。

（宮田 貞夫）

プロジェクトのメンバー 猪俣武雄リーダー（広町）、小塚詔明サブリーダー（下村）、国分満義（葛野） 斎藤 猛（宮の台）、永川千尋（富士見ヶ丘）、竹内 淳（南親交会）、安西 透（向根下）、井上孝一（春日）、宮田貞夫（夏刈場）

今の自分がしたい「まなび」を見つける居場所がオープン

「子どもと大人のまなびば そらいろ」代表 黒田昭子（寄稿）

空き家を改修し、10月21日にオープンしたばかりの「そらいろ」。「何をするところ？」と、ときどき道行く人が塀にはってあるポスターを見ながら、のぞいていきます。

探求したかったことや、体験したかったことなどを後回しにしていた多忙な小学校教員時代。しかし、退職後には小さなことでも、今の自分がしたいと思っていることを大切にしたら、私の生活はワクワクする毎日になりました。また、小学校では、興味をもつ学習に出会った子どもは、目を輝かせて、どんどん自分から学んでいくことを目の当たりにしてきました。その経験から、「まなび」～ここでは、今の自分が探求したいことや表現したいことなどを主体的にすることを意味します～は、子どもだけではなく、忙しい大人も含め、みんなに必要なであると思うようになりました。多世代の多様な人々がお互いに刺激し合いながら「まなび」を生活に取り入れるきっかけになるような居場所が身近にあったら…。そんな夢が、大家さんをはじめ、様々な人との幸運な出会いやサポートで形になり、「そらいろ」ができました。



「そらいろ」では、4つの事業を行っています。①発達に凸凹のある子どものための学習支援の塾「そらいろ個別学習」。自己肯定感を高めながら自分から進んで学んでいく子どもを、保護者と共に育てていきます。②自らの学びを深めていく力を育てる問題解決型学習の塾「そらいろ探求スクール」。テーマの設定、情報の収集と選択、調べたことをまとめること、発表すること、他の人の発表を聞いて自分の考えをもつことなど、学びを形にするプロセスを楽しむことを支援します。③夕方のひととき、自分のための時間を取って、体にやさしいおやつ・飲み物と共にリラックスしながら、自分のしたいことをする「そらいろアフタヌーンクラ

ス」。参加者のペースや興味に合わせた「まなび」（アート、音楽、野外活動など）のプログラムがあります。④体験を広げたり交流したりすることで「まなび」が深まる「そらいろイベント」。様々な世代の地域の方が気軽に参加できるような「まなび」のイベントを企画していきたいと思っています。毎月の「子どもの育ちおしゃべり会」、12月の「クリスマスリース作りと歌のイベント」、その他のイベントを企画中です。詳しくは、ホームページ（＝QRコード）をご覧ください。

毎週木曜日午後はオープンルームとして、気軽に見学・ご相談ができるようにしています。どうぞお立ち寄りください。皆さんと「そらいろ」でお会いできることを楽しみにしています！

住所：中田東 3-22-10 メールアドレス：manabiba.sorairo@gmail.com



編集後記

ことしの第57回中田スポーツ大会（10月8日）は28自治会が参加して開催された。従来の「大運動会」から名称を変え競技を減らして行われた。人気種目の大縄跳び、百足リレー、障害物リレーや自治会対抗の小学生、一般混合2種目の400Mリレーは大会の華。この時だけは応援も一段と盛り上がる。食事タイムはなく通しで8種目を行い12時30分には終了した。運営次第で楽しくできることを示した。今回感じたのは大会もすでにデジタルの時代。計測器や28自治会の8種目228の全得点が瞬時に計算され、コピーされ配布されていた。（宮田貞夫）

◎発行：中田地区経営委員会「かわら版」制作編集委員会

委員長 宮田貞夫 編集長 松本正

編集委員：山木重樹、小島敏子、田中進、河内満明、松本純子、鈴木賀津彦、嶋 宏之